

町会報

えひめ

2025
10
Vol.199

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



上島町 デマンド交通 「チョイソコゆめしま」 運用開始！

令和7年8月1日(金)、地域住民の交通への不安をなくし移動の自由を広げる架け橋として新たな交通(デマンド交通)「チョイソコゆめしま」の運行が開始され、初日、第1号となる利用者を自宅前から目的地の港まで乗せ、新たな公共交通の第1歩を踏み出しました。「チョイソコゆめしま」は上島町内2ヶ所を運行エリアとし、このエリアの利用状況によりエリア拡大の時期を検討し将来的は町内全域へのデマンド交通導入を目指しています。利用者の自宅前から目的地までドアツードアをコンセプトに頼れる公共交通として、地域コミュニティの活性化を図りながら、将来を見据えた使いやすい便利な交通として、地域と一緒に作りあげて行きたいと考えています。

Contents

第3回全員連絡会	2	中級職員研修会	5
四国地区町村議会議長会研修会	3	本県の市町の基準財政需要額	6~7
令和7年度町村監査功労者表彰式等	4	一筆/10月の会と催し	8

第3回全員連絡会を

鬼北町役場にて開催

愛媛県町村会

愛媛県町村会とは、10月21日(火)に鬼北町役場3階議場で「令和7年度第3回全員連絡会」を開催した。会議には、愛媛県市町振興課の雲峰課長同席の下、県内9町長が出席した。

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
高門会長(伊方町長)
- 3 地元町長あいさつ
兵頭町長(鬼北町長)
- 4 議長選出
- 5 会議録署名人の指名
- 6 愛媛県市町振興課からの連絡事項
- 7 男性職員の育児休業取得促進に



あいさつする高門会長



あいさつする兵頭町長

- 7 報告事項
 - ・全日本自治団体労働組合(自治労) 愛媛県本部及び日本自治体労働組合総連合会(自治労連) 愛媛県本部からの要請書について
 - 8 協議事項
 - ・全国町村長大会並びに町長能登半島災害対策等視察研修について
- 本会事務局長から報告し、一同了承した。



- 9 その他
 - (1) 令和7年度災害共済・保険事業加入推進運動及び全国町村職員生活協同組合共済事業加入推進運動について
 - 10 開 会
 - (2) 「過疎対策関係予算・施策に関する要望」について
 - (3) 次回全員連絡会について
- 本会事務局長から報告し、一同了承した。
- 次回の全員連絡会の開催については、正副会長に一任することと決定した。

鬼北町庁舎見学・

鬼北町内視察

愛媛県町村会

全員連絡会終了後、鬼北町庁舎の見学及び鬼北町内の次の5箇所を視察した。

「町内視察先」

- 有害鳥獣減容化施設
- 広見森の三角ぼうし
- 多世代交流施設
- 奈良山等妙寺歴史交流館
- 成川溪谷



奈良山等妙寺歴史交流館視察

第63回四国地区町村議会議長会研修会を開催

四国地区町村議会議長会

四国地区町村議会議長会研修会が、本県当番により、10月8日(水)松山市のANAクラウンプラザホテル松山において、四国各地から町村議会議員ら約460名(本県関係は124名)が出席し盛大に開催された。

研修会は、定刻午後1時に開会。はじめに四国地区会長である前田愛媛県会長(上島町議会議長)が開会のあいさつを述べた後に、自治功労者の表彰に入り、町村議会議員として19年以上在職し、地方自治の振興に寄与された11名の方々に対する四国地区町村議会議長会表彰が行われた。

次に講演に入り、政治ジャーナリスト／元日本テレビ政治部次長兼解説委員の青山和弘氏から「どこへ行く日本の政治」、NHKアナウン

サー／立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員の三宅民夫氏から「混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ～アナウンサー人生で学んだ知恵～」と題する講演があり、これを聴講。最後に次期当番県である五味高知県会長が閉会のことばを述べ、午後4時35分に閉会した。



あいさつする前田会長



第63回四国地区町村議会議長会研修会開催概要

- 1 主催 四国地区町村議会議長会(当番:愛媛県町村議会議長会)
- 2 開催日 令和7年10月8日(水) 午後1時～午後4時35分
- 3 会場 ANAクラウンプラザホテル松山
本館4階「ダイヤモンドボールルーム」
松山市一番町3-2-1 TEL 089-933-5511(代)
- 4 表彰 四国地区町村議会議長会表彰
四国地区町村議会議長会表彰規程に基づいて、町村議会議員として在職19年以上で功労のあった者を所属町村議会議長の推薦により表彰する。
- 5 日程

12:30～13:00	受付
13:00～13:20	開会あいさつ(四国地区町村議会議長会会長) 自治功労者表彰
13:20～14:50	講演「どこへ行く日本の政治」 講師 政治ジャーナリスト 元日本テレビ政治部次長兼解説委員 青山 和弘 氏
14:50～15:00	休憩
15:00～16:30	講演「混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ ～アナウンサー人生で学んだ知恵～」 講師 元NHKアナウンサー 立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員 三宅 民夫 氏
16:30～16:35	閉会あいさつ(高知県町村議会議長会会長)
- 6 出席対象者 町村議会議長、副議長、議員、議会事務局職員、
識見監査委員等



講師 青山和弘 氏



講師 三宅民夫 氏

町村監査功労者表彰式・

町村監査委員全国研修会

全国町村監査委員協議会主催による「町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会」が、10月16日(木)にLINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)において、全国から約1,500名の関係者が参加して盛大に開催された。本県からは24名が参加した。

町村監査功労者表彰式は、新名全国町村監査委員協議会会長からの式辞のあと、被表彰者を代表して、宮崎県国富町の山口代表監査委員に表

彰状が授与された。

今回の被表彰者は、監査委員として7年以上在職し功労のあった方72名、監査事務職員として10年以上在職し功労のあった方10名の合計82名が表彰された。

続いて、来賓の小川総務省自治行

政局長、横田全国町村会事務総長並びに中本全国町村議会議長会会長からの祝辞の後、被表彰者を代表して同じく山口代表監査委員が謝辞を述べた。

なお、本県受賞者は次のとおりです。

久万高原町代表監査委員

菅 洋志 氏

内子町代表監査委員

赤穂 英一 氏

表彰式後終了後、休憩を挟み、次のとおり町村監査委員全国研修会が開催された。

【研修内容】

「不納欠損額等の縮減に向けた債権管理のポイント」
弁護士 澤村 暁 氏



「地方公共団体における

ICT監査のすすめ」

システム監査技術者、
元大阪市行政委員会事務局監査部
片岡 学 氏



「監査実務のポイントについて」
茨城県水戸市監査委員事務局長
和田 隆 氏



町名	所属名	氏名	町並・地域振興課
上島町	住民課	白石 千夏	渡邊 怜史
〃	生涯学習課	角谷 有一	
〃	健康推進課	三阪 裕美	町並・地域振興課
久万高原町			
	総務課	清水 瞭	こども支援課
〃	住民課	柏原 清楓	こども支援課
〃	住民課	水代 達也	地域包括支援センター
〃	まちづくり戦略課		
〃		本田李璃子	農業委員会
〃	教育委員会	山岡 尚弥	小田支所
松前町	総務課	三好 弘文	建設デザイン課
〃	財政課	中嶋 元喜	町民課
〃	町民課	中川 詠理	農林水産課
〃	まちづくり課	宮内 健志	総合政策課
〃	産業課	矢野 祥太	生涯学習課
〃	総務課	瀬川あかり	長寿介護課
砥部町	町民課	宮内 愛	三崎公民館
〃	税務課	松岡 航	町民生活課
〃	税務課	酒井 奨	出納室
〃	税務課		総務課
〃	介護福祉課	波崎 侑平	町民課
〃	子育て支援課	西岡玲央奈	町民課
〃	税務課	仲田満里菜	農林課
〃	介護福祉課	上西日奈子	南海支所
〃	町民課	小松 望	保健福祉課
〃	農林課	宮田 真優	環境衛生課
内子町	総務課	細川 正記	防災対策課
〃	総務課	浅野 晃陽	学校教育課

本県市町の基準財政需要額その他

本県の市町の令和7年度基準財政需要額、基準財政収入額、普通交付税決定額及び財政力指数・標準税収額等は次のとおり。

財政力指数・標準税収額等及び基準財政規模

(単位：千円)

区 分 団 体 名	財 政 力 指 数				標準税収額等
	5 年 度	6 年 度	7 年 度	3 ヶ年平均 (5～7)	
松 山 市	0.737	0.722	0.725	0.728	90,473,806
今 治 市	0.526	0.536	0.571	0.544	27,432,993
宇 和 島 市	0.332	0.347	0.360	0.346	10,676,624
八 幡 浜 市	0.323	0.316	0.326	0.322	4,465,099
新 居 浜 市	0.777	0.768	0.763	0.769	23,149,526
西 条 市	0.612	0.645	0.654	0.637	21,536,389
大 洲 市	0.345	0.347	0.376	0.356	6,838,242
伊 予 市	0.413	0.409	0.412	0.411	5,262,689
四 国 中 央 市	0.723	0.715	0.725	0.721	19,343,702
西 予 市	0.250	0.256	0.271	0.259	5,048,686
東 温 市	0.486	0.489	0.494	0.490	5,718,235
市 計					219,945,991
上 島 町	0.151	0.156	0.158	0.155	779,100
久 万 高 原 町	0.202	0.215	0.220	0.212	1,507,917
松 前 町	0.683	0.654	0.660	0.666	5,432,050
砥 部 町	0.420	0.414	0.417	0.417	2,786,865
内 子 町	0.274	0.277	0.284	0.278	2,194,744
伊 方 町	0.600	0.566	0.550	0.572	3,353,290
松 野 町	0.153	0.154	0.163	0.157	464,351
鬼 北 町	0.228	0.228	0.234	0.230	1,377,437
愛 南 町	0.228	0.233	0.243	0.235	2,629,929
町 計					20,525,683
県 計					240,471,674

普 通 交 付 税

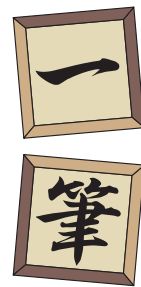
(単位：千円)

区 分 団 体 名	基準財政需要額	基準財政収入額	財 源 不 足 額	普通交付税決定額	臨時財政対策債 発 行 可 能 額
松 山 市	98,106,383	71,129,844	26,976,539	26,924,986	0
今 治 市	37,719,663	21,553,043	16,166,620	16,146,799	0
宇 和 島 市	23,490,709	8,465,785	15,024,924	15,012,580	0
八 幡 浜 市	10,944,685	3,567,017	7,377,668	7,371,917	0
新 居 浜 市	23,798,177	18,164,322	5,633,855	5,621,350	0
西 条 市	25,898,903	16,926,261	8,972,642	8,959,033	0
大 洲 市	14,630,478	5,499,632	9,130,846	9,123,158	0
伊 予 市	10,223,087	4,215,530	6,007,557	6,002,185	0
四 国 中 央 市	20,886,409	15,156,376	5,730,033	5,719,058	0
西 予 市	15,122,363	4,090,837	11,031,526	11,023,580	0
東 温 市	9,153,176	4,523,187	4,629,989	4,625,179	0
市 計	289,974,033	173,291,834	116,682,199	116,529,825	0
上 島 町	3,962,384	627,199	3,335,185	3,333,103	0
久 万 高 原 町	5,748,726	1,265,112	4,483,614	4,480,593	0
松 前 町	6,492,370	4,310,070	2,182,300	2,178,888	0
砥 部 町	5,387,881	2,246,593	3,141,288	3,138,457	0
内 子 町	6,316,021	1,792,809	4,523,212	4,519,893	0
伊 方 町	4,695,419	2,583,194	2,112,225	2,109,758	0
松 野 町	2,360,095	385,465	1,974,630	1,973,390	0
鬼 北 町	4,810,975	1,128,111	3,682,864	3,680,336	0
愛 南 町	8,739,048	2,113,392	6,625,656	6,621,064	0
町 計	48,512,919	16,451,945	32,060,974	32,035,482	0
県 計	338,486,952	189,743,779	148,743,173	148,565,307	0

(注) 1 基準財政需要額及び基準財政収入額は、錯誤措置後のものである。

2 各地方局計は、町分のみを集計である。

3 令和7年度の調整率は、0.000525478である。



ギアは自動にあらず

10月と云えば体育祭。「秋の運動会」のシーズンである。かつては、校庭の木の下で、出始めの栗や早生みかんが敷物に並び、体操服の児童と保護者らが競技の順位など雑談しながら、秋風に巻き上げられたグラウンドの砂塵の中で昼食をとる風景が定番であった。その後、校内不審者事件が発生、当時は限られた人数で保護者が大きなネーム札をぶら下げての観戦。コロナ流行で中止などがあり、ようやく落ち着いた催しになったが、此処のところ10月開催そのものが、汗ばむどころか暑さ対策に万全を期しての夏休み明けの練習、本番は午前中で終了とか冷房を効かした屋内での開催など気配りが、当たり前になってきた。しかし運動会自体は、今日のアニメ世界を反映したメロディーが流れ、子供らの素晴らしいプログラムで何処も好評のよう

だ。
さて、横田めぐみさんが中学1年生の13歳で、運動会も終わり秋真っ盛りの11月15日に「拉致」された。この10月5日で満61歳の誕生日を迎えるとのこと。この48年間、本人と母親早紀江さん(89歳)の心中は図って

も計り知れない。「拉致」当事国が認めた17人中、5人の帰国しかない現実。ある意味、目の前の物価高騰・人口減少対応など諸施策とは異なるが、普通に生活する人間に対し、現代社会は「人間」として「心の幸せ」が疎かになってはいないか、機微が存在していることを皆が忘れていないか、胸に着けた「青色」のバッチがアクセサリーになってはいないか。世界平和を声高に叫ぶ中でこそ、その片隅の「重い人心」を全国民が一丸となり、善良な被害者全員を取り戻すべきであろう。時間に余裕がない被害者の張り裂けるような心中を察するに、関係者のギアは自動にあらず、叡知と策を練った超段アップの行動しかない。

今年のノーベル賞に、我が国から2人の授与が決定。坂口志文氏(大阪大学特認教授)が「制御性T細胞」発見で「生理学・医学賞」を受賞。免疫で過剰な攻撃をブレーキ、拒絶反応を抑える、がん治療などに応用が期待される細胞発見による。

また北川進氏(京都大学副学長)が「金属有機構造体の開発」で「化学賞」を受賞。水素の貯蔵や大気から二酸化炭素を回収、現下の温暖化対策など環境分野への応用に期待大である。

我が国のノーベル賞受賞は、個人で30人、昨年の日本原水爆被害者団体協議会と合せて31個の受賞となった。北川教授は、子供への送る言葉を問われ「幸運は準備された心に宿る」と研究への情熱を語った。

ノーベル賞受賞は、列島の隅々まで諸手を挙げて慶び、誇らしい。ついでには後継者、次の受賞者に繋がるよう他国に劣らない応分の「研究費」を常に確保しておくべきである。

(T)

10月の会々催し

- ▽1日 全国町村議会議長会町村議会の制度に関する検討委員会幹事会、全国町村議会議長会都道府県事務局長会議、全国町村監査委員協議会幹事会
- ▽2日 令和7年度全国交通安全共済組合職員研修会
- ▽3日 愛媛県町村会令和7年度中級職員研修会、(一社)内外情勢調査会松山支部10月懇談会
- ▽7日 自治労愛媛県本部からの要請
- ▽8日 第63回四国地区町村議会議長会研修会、(公財)全国市町村研修財団令和7年度市町村議会事務局職員研修(10日まで)
- ▽10日 交通災害共済事業第3回検討委員会、令和7年度「小・中学生のふるさと学習作品展」の特別賞等作品審査会
- ▽14日 全国町村議会議長会町村議会の制度に関する検討委員会
- ▽15日 全国町村議会議長会都道府県会長会
- ▽16日 全国町村会理事会・都道府県会長会、政務調査会(各委員会)、令和7年度町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会



編集後記

「宝くじ幸運のアンバサダー」の松永鈴帆さんがハロウィンジャンボ宝くじのPRのため(公財)愛媛県市町振興協会事務局に来局されました!この宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりのために使用されます。

- ▽20日 愛媛県市町各種事業総合協議会令和6年度会計監査、愛媛県人権協会令和6年度会計監査
- ▽21日 愛媛県町村会令和7年度第3回全員連絡会、厚生労働省第20回成年後見制度利用促進専門家会議、全国町村会等の各種損害保険制度に関するWEB説明会
- ▽28日 秋の園遊会
- ▽29日 交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部第64回交通安全県民大会、愛媛県過疎地域協議会令和6年度会計監査
- ▽30日 全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり全体会、愛媛県町村監査委員協議会令和6年度会計監査
- ▽31日 全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり分科会